

がん予防学術大会 2025 名古屋

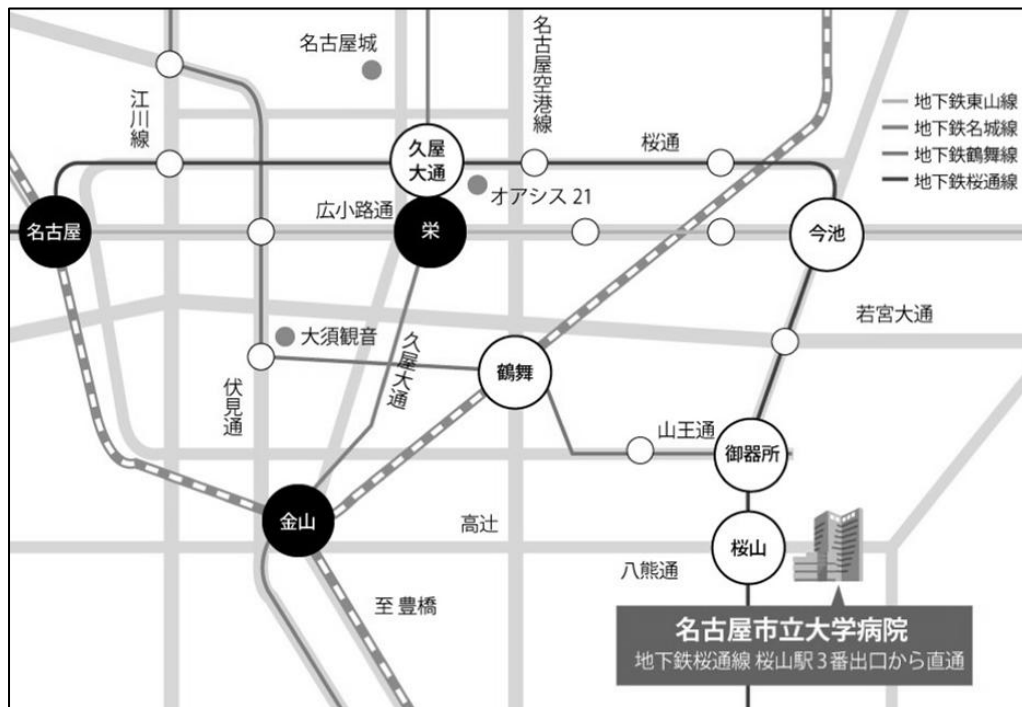
第 32 回日本がん予防学会総会

第 48 回日本がん疫学・分子疫学研究会総会

「環境と遺伝の融合で切り拓くがん疫学・予防研究」 プログラム・抄録集

会 期	2025 年 9 月 12 日（金）～9 月 13 日（土）
会 場	名古屋市立大学 桜山キャンパス 病棟・中央診療棟 3 階大ホール （愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄 1）
会 長	第 32 回 日本がん予防学会総会 高橋 智 （名古屋市立大学 大学院医学研究科） 第 48 回 日本がん疫学・分子疫学研究会総会 松田 浩一 （東京大学 大学院新領域創成科学研究科）
プログラム委員	松尾 恵太郎（愛知県がんセンター） 澤田 典絵 （国立がん研究センター） 伊藤 ゆり （大阪医科薬科大学） 今岡 達彦 （放射線医学研究所） 戸塚 ゆ加里（星薬科大学） 武藤 倫弘 （京都府立医科大学）

交通案内



地下鉄

【名古屋駅（地下鉄桜通線名古屋駅）】

- ・[3 番ホーム] 今池・新瑞橋・徳重方面行き→桜山駅下車（市立大学病院）、3 番出口よりすぐ（乗車時間：約 17 分）

市営バス

【栄バスターミナル（オアシス 21 のりば）】

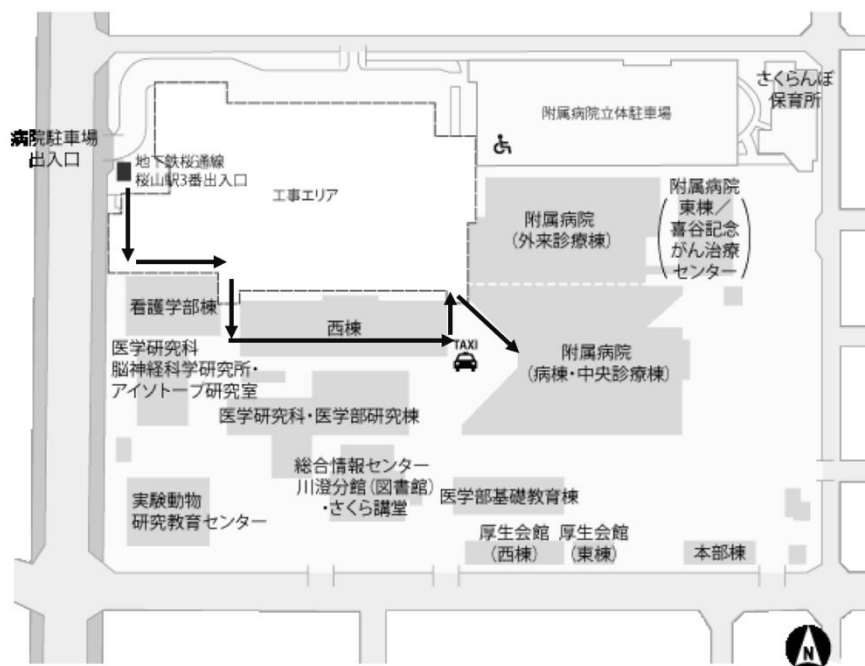
- ・[4 番のりば] 栄 26「博物館」行き→「市立大学病院」下車（乗車時間：約 25 分）

【金山バスターミナル】

- ・[7 番のりば] 金山 16「瑞穂運動場東」行き→「桜山」下車（乗車時間：約 15 分）
- ・[7 番のりば] 金山 12「妙見町」行き→「市立大学病院」下車（乗車時間：約 15 分）
- ・[8 番のりば] 金山 14「瑞穂運動場東」行き→「市立大学病院」下車（乗車時間：約 20 分）

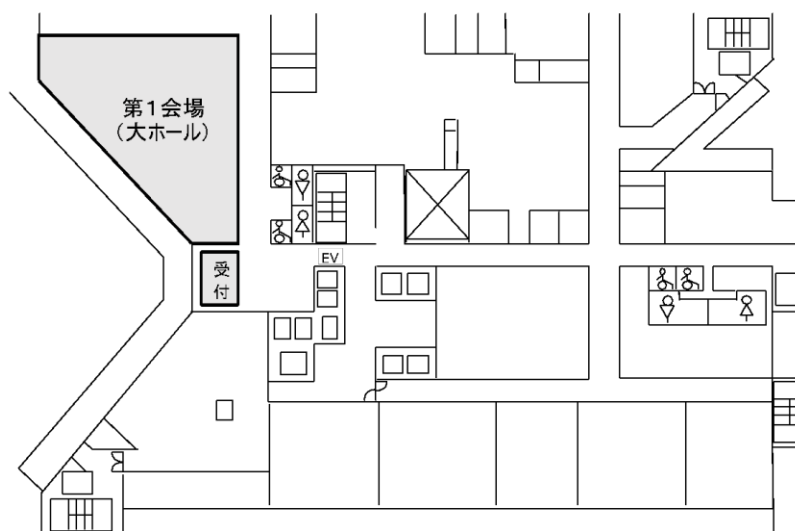
会場案内

桜山キャンパス



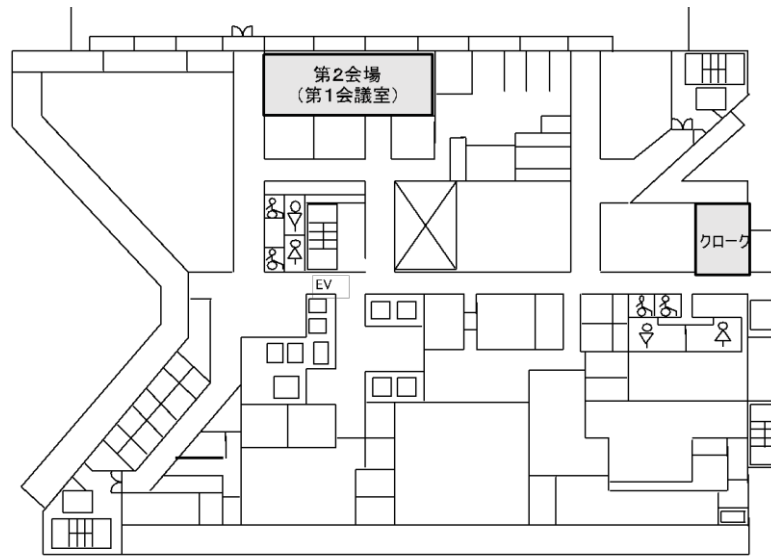
- ・ 桜山駅3番出口から矢印のように通路を歩いていただき、西棟の中を歩いていただき、病院の入り口までお越しください。

病棟・中央診療棟 3階

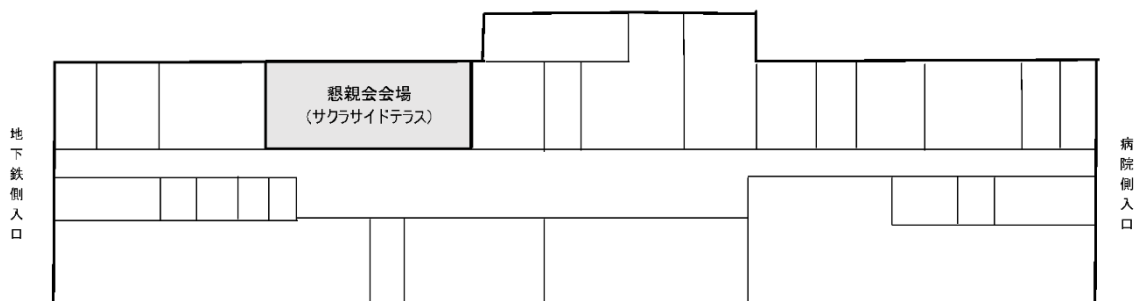


- ・ 会場は病院内になりますので、必ずマスク着用をお願いいたします。
- ・ 発熱や咳などの症状がある場合は参加をご遠慮ください。

病棟・中央診療棟 4 階



西棟 1 階



- ・会場内は、写真撮影、録音、録画は禁止です。
- ・携帯電話はマナーモードに設定し通話をご遠慮ください。
- ・クロークは4階、第3会議室です。
- ・第2会場(第1会議室)内に休憩スペースを設けていますので、ご利用ください(飲食可です)。
- ・地下1階にコンビニエンスストア(ローソン)、外来診療棟1階アトリウムにスターバックス、病院6階に食堂があります。また、西棟1階には懇親会会場となっているサクラサイドテラス、桜山キャンパス内厚生会館(西棟)には学生食堂がありますが、いずれも土曜日は休業です。

参 加 者 へ の ご 案 内

当日参加登録

場所：名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟 3 階 エレベーターホール

時間：9 月 12 日(金) 8:00～17:00

9 月 13 日(土) 8:00～14:30

区分	学会参加費
一般	8,000 円
学生・大学院生	無料

※学生、大学院生は学生証の提示をお願いします。

事前参加登録を行った皆様へ

- ・ 抄録集と参加証兼領収書をお渡しいたしますので、会場ご到着時に受付へお越しいただき、お名前をお知らせください。

情報交換会のご案内

場所： 名古屋市立大学桜山キャンパス 西棟 サクラサイドテラス

時間： 9 月 12 日(金) 18:20～20:20

会費： 6,000 円（税込）

事前に申し込まれた方のみ参加できます。当日受付はありませんので、ご注意ください。

座長の方へのご案内

- ・ 来場されましたら受付の「座長・口演演者受付」へとお越しください。
- ・ シンポジウム、口演、セミナーの座長の方は、受付を済まされましたら、ご担当されるセッションの開始予定 **10 分前**までに会場にお越しいただき、「次座長席」にご着席ください。
- ・ ポスターセッションの司会の方は、受付を済まされましたら、セッション開始 **5 分前**までにご担当セッションのポスター前に待機してください。
- ・ 一般口演の発表時間は 1 演題につき発表 7 分、討論 2 分です。
- ・ ポスターセッションにおける演者の発表時間は 4 分、討論時間は 2 分です。
- ・ セッションの進行は座長の先生にご一任とさせていただきます。終了時刻は厳守していただきますようご協力の程よろしくお願いいたします。

発表される方へのお願い

【口演】

- 発表スライドは事前に指定の Dropbox までご提出をお願いいたします。演者の方にはメールにて Dropbox の URL をお知らせしています。
- 来場されましたら、受付の「座長・口演演者受付」にお越しください。
- PC の試写を希望される場合は、大ホール前方・演者側にお越しください。
- セッション開始予定の **10 分前** までには会場内の「次演者席」にご着席ください。

【ポスター】

- 参加受付を終了された後に「ポスター受付」にて黄色のリボンをお受け取りください。
- ポスター貼付時間内にポスターの貼付をお済ませください。

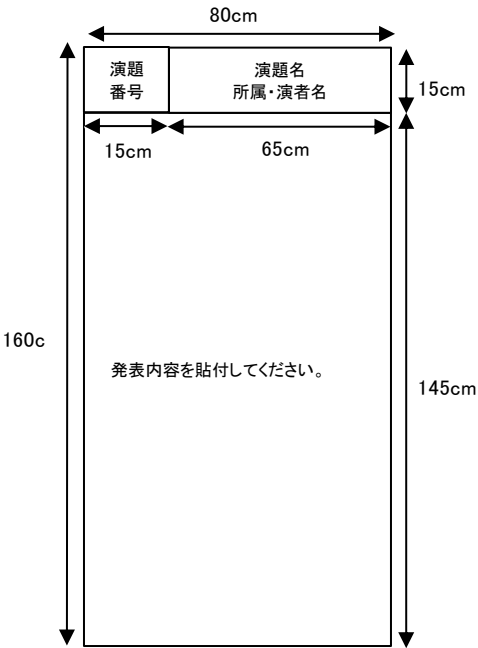
第 1 会場（3 階大ホール）

- 会場で使用する PC は Windows11 の Powerpoint (2024) をインストールしております。
- フォントは文字化けを防ぐため、Windows 標準フォント（MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝、メイリオ、Arial、Century、Times、Times New Roman など）のいずれかをご使用ください。
- 発表したスライド内に静止画やグラフ等のデータをリンクさせることはせず、画像にしたものを貼付ください。リンクさせている場合は、画像がうまく表示されない可能性があります。
- ご自身の PC を持ち込まれて発表される場合は、必ず事前に運営事務局までご連絡ください。

第 2 会場（4 階第 1 会議室）

- 発表番号(15×15cm)と掲示用ピンをご用意しております。
- パネルの規格(160×80cm)に従って演題名、所属、演者名、発表内容を記したポスターを作成してください。
- 司会をおいて発表と討論を行います。発表日時は下記の通りです。
- 発表時は、黄色のリボンをつけてください。発表後は受付にリボンをご返却ください。
- 撤去時間内にポスターを撤去してお帰りください。ポスターをそのままにして帰ることはできません。

カテゴリー	P1～P17	P18～P34
発表日時	9 月 12 日（金） 13:00～14:00	9 月 13 日（土） 13:50～14:50
貼付時間	9 月 12 日（金）	8:30～11:30
撤去時間	9 月 13 日（土）	14:50～16:00



利益相反(COI)について

- 発表にあたって筆頭発表者と研究責任者の COI の開示をお願いいたします。
- 口演発表者は発表スライドの 2 枚目(表題の次のスライド)に以下のように記載してください。

COI 開示 筆頭発表者、研究責任者氏名 本演題に関連して開示すべき利益相反はありません	COI 開示 筆頭発表者、研究責任者氏名 本演題に関連して開示すべき利益相反は以下の通りです ○○○…
---	---

- ポスター発表の場合は、結論の後や謝辞の前後等に「本演題に関連して開示すべき利益相反はありません」もしくは「本演題に関連して開示すべき利益相反は以下の通りです。○○○・・・」と記載してください。
- 開示すべき COI の事項、基準は以下の通りです。開示の対象期間は演題登録時から遡って過去 3 年間です。1) ～3)、9) については、親族等（配偶者、一親等の親族、または収入・財産的利益を共有するもの）についても開示してください。

項目	開示を要する場合
1) 企業や営利を目的とした団体（以下、企業等）の役員・顧問職（アドバイザー・コンサルタント等も含む）への就任	1 つの企業等からの報酬額が年間 100 万円以上親族等が企業等の従業員
2) エクイティ（株式・新株予約権等）の保有とそこから得られる利益	1 つの企業等についての 1 年間の株式による利益（配当・売却益の総和）が 100 万円以上、あるいは当該全株式の 5% 以上を所有新株予約権等については、含み益が 100 万円以上
3) 企業等からの特許権使用料・譲渡益	1 つの企業等から年間合計 100 万円以上
4) 企業等から、会議の出席（講演・座長・アドホックな助言等）に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた講演料・謝金等	1 つの企業等から年間合計 50 万円以上
5) 企業等がパンフレット等の執筆に対して支払った原稿料	1 つの企業等から年間合計 50 万円以上
6) 企業等及び企業等を資金源とした非営利団体が契約に基づいて提供する研究費（受託研究費・共同研究費・治験費等）	1 つの企業等及び企業等を資金源とした非営利団体から申告者に対して支払われた直接経費の総額が年間 100 万円以上当該企業等から個人的に受け取っている対価がある場合
7) 企業等が提供する奨学（奨励）寄付金または民間学術助成団体から助成される研究助成金	1 つの企業等または民間学術助成団体から支払われた直接経費で、開示対象者個人または開示対象者が所属する部局（講座・分野等）もしくは研究室に対して、開示対象者が実質的に使途を決定し得る割当額の総額が年間 100 万円以上
8) 企業等が提供する寄付講座等 企業等から派遣・提供される研究員等	開示対象者が当該寄付講座等に所属 開示対象者が研究室の代表者（当該研究員等の雇用費の受入れの有無にかかわらず）
9) その他の報酬（研究とは直接無関係な旅行・贈答品等）	1 つの企業等から受けた報酬が年間 5 万円以上

関連会合のご案内

- 9 月 12 日（金）12:00～12:50 日本がん疫学・分子疫学研究会総会（場所：第 1 会場 3 階大ホール）
- 9 月 13 日（土）12:00～12:50 日本がん予防学会評議員会（場所：第 3 会場 10 階第 4 会議室）
- 9 月 13 日（土）13:00～13:40 日本がん予防学会総会（場所：第 1 会場 3 階大ホール）

日 程 表

9月12日（金）

	第1会場 (3階大ホール)	第2会場 (4階第1会議室)
8:00	8:00～17:00 受付	
9:00	9:00～9:10 開会の辞	8:30～11:30 ポスター貼付
10:00	9:10～10:40 シンポジウム1「がん対策に資するエビデンス構築に向けて」 司会：澤田典絵 伊藤ゆり 演者：石橋史明、溝田友里 相良安昭、中澤 葉宇子	
11:00	10:50～11:50 一般口演1【予防】 司会：酒々井真澄、森岡孝満	
12:00	12:00～12:50 日本がん疫学・分子疫学研究会 総会	
13:00		13:00～14:00 ポスターセッション1 司会：江口英孝、堀中真野、小川久美子
14:00	14:10～15:50 教育研修講演 司会：松田 浩一 「疾患における腸内細菌叢の機能解析と新規治療法の開発」 演者：植松 智 「医療ビッグデータを用いた臨床研究」 演者：康永 秀生	
15:00		
16:00	16:00～18:00 合同シンポジウム 「環境と遺伝の融合で切り拓くがん疫学・予防研究」 司会：松尾恵太郎、相村春彦 演者：松尾恵太郎、松田浩一 戸塚ゆ加里、柴田龍弘	
17:00		
18:00		
	18:20～20:20 情報交換会 @サクラサイドテラス(西棟1階)	

9月13日(土)

	第1会場 (3階大ホール)	第2会場 (4階第1会議室)	第3会場 (10階第4会議室)
8:00	8:00～14:30 受付		
9:00	9:00～10:30 シンポジウム2「動物モデルから得られた貴重な知見」 司会：武藤倫弘、内木綾 演者：石井雄二、内木綾、今岡達彦、 中村慎吾、宮本真吾		
10:00			
11:00	10:40～11:50 一般口演2【疫学】 司会：岩崎基、尾瀬功		
12:00			12:00～12:50 日本がん予防学会 評議員会
13:00	13:00～13:40 日本がん予防学会総会・奨励賞授与式		
14:00		13:50～14:50 ポスターセッション2 司会：伊藤秀美、 梯アンナ、堀美香	
15:00	15:00～16:00 基調講演「未病状態をエンドポイント に用いてがん予防研究の革新へ」 司会：高橋智 演者：牛島俊和	14:50～16:00 ポスター撤去	
16:00	16:00～16:20 表彰式・閉会の辞		
17:00	16:30～17:30 第9回認定セミナー 司会：武藤倫弘 演者：津田洋幸、鈴木貞夫、 菊地基雄、志村貴也		
18:00			

プログラム

9月12日（金）
【第1会場（3階大ホール）】

9:00～9:10 開会の辞

9:10～10:40 シンポジウム1「がん対策に資するエビデンス構築に向けて」

司会：澤田 典絵（国立がん研究センター がん対策研究所 コホート研究部）
伊藤 ゆり（大阪医科大学 総合医学研究センター 医療統計室）

S1-1 予防：ピロリ菌除菌による胃がん予防と除菌後のリスク評価

石橋 史明

国際医療福祉大学市川病院 消化器内科

S1-2 検診：メディアと自治体の連携によるがん検診受診勧奨の成果

溝田 友里^(1,2)

⁽¹⁾静岡社会健康医学大学院大学、⁽²⁾厚生労働省

S1-3 医療：National Clinical Database を用いた乳癌診療の質向上の取り組み

相良 安昭⁽¹⁾、隈丸 拓⁽²⁾、伊藤 ゆり⁽³⁾、小西 孝明⁽⁴⁾、桜井 なおみ⁽⁵⁾、清水 千佳子⁽⁶⁾、坂東 裕子⁽⁷⁾、宮下 穰⁽⁸⁾

⁽¹⁾社会医療法人博愛会 相良病院、⁽²⁾東京大学大学院医学系研究科 医療品質評価学講座、⁽³⁾大阪医科大学 総合医学研究センター 医療統計室、⁽⁴⁾東京大学大学院 乳腺・内分泌外科学 臨床疫学・経済学、⁽⁵⁾一般社団法人CSRプロジェクト、⁽⁶⁾国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科、⁽⁷⁾筑波大学 医学医療系 乳腺内分泌外科、⁽⁸⁾東北大学大学院 医学系研究科 乳腺内分泌外科学分野

S1-4 共生：患者体験調査による患者のQOL/PRO

中澤 葉宇子⁽¹⁾、東 尚弘⁽²⁾、市瀬 雄一⁽²⁾

⁽¹⁾国立がん研究センターがん対策研究所 がん政策評価研究部、⁽²⁾東京大学医学部・大学院医学系研究科 公衆衛生学教室

司会：酒々井 眞澄（名古屋市立大学大学院医学研究科 神経毒性学）

森岡 孝満（量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所）

O-1 新規がん予防標的 GGCT に対する阻害剤開発へ向けたセルベーススクリーニング法の開発とプルンバギンの同定

谷口 恵香⁽¹⁾、野原 由江⁽²⁾、堀中 真野⁽¹⁾、野瀬 梢⁽³⁾、森 昌也⁽³⁾、飯居宏美⁽³⁾、中田 晋⁽³⁾、吉矢 拓⁽²⁾、酒井 敏行⁽¹⁾

⁽¹⁾京都府立医科大学 創薬医学、⁽²⁾株式会社ペプチド研究所、⁽³⁾京都薬科大学 臨床腫瘍学

O-2 SGLT2 阻害薬による消化器発がんの抑制

白上 洋平、美濃輪大介、亀井真琴、境 浩康、清水雅仁

岐阜大学 大学院 医学系研究科 消化器内科学分野

O-3 全身化学療法を受ける尿路上皮癌患者へのアナモレリンの有効性と安全性の検証

内木 拓^(1,2)、三村 佳久⁽³⁾、内木 綾⁽⁴⁾、恵谷 俊紀⁽¹⁾、永井 隆⁽¹⁾、森川 敏治⁽¹⁾、清水 伸彦⁽¹⁾、青木 マリア⁽²⁾、権田 将一⁽¹⁾、安井 孝周⁽¹⁾

⁽¹⁾名古屋市立大学大学院 医学研究科 腎・泌尿器科学分野、⁽²⁾名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター 泌尿器科、⁽³⁾名古屋市立大学大学院 医学研究科 臨床薬剤学分野、⁽⁴⁾名古屋市立大学大学院 医学研究科 実験病態病理学分野

O-4 Oligonol による Min マウス腸ポリープ形成抑制とその分子機構解明

鱧屋 隆博、宮本 真吾、有田 遼、笹川 昌起、武藤 倫弘

京都府立医科大学大学院 医学研究科 分子標的予防医学

O-5 ラットにおける前立腺発癌に対する高脂肪食の促進効果の解析

森川 敏治^(1,2)、内木 綾⁽¹⁾、長安 祐子⁽¹⁾、石川 大樹⁽²⁾、青木 マリア^(1,2)、権田 将一⁽²⁾、清水 伸彦⁽²⁾、永井 隆⁽²⁾、恵谷 俊紀⁽²⁾、内木 拓⁽²⁾、河合 憲康⁽²⁾、安井 孝周⁽²⁾、高橋 智⁽¹⁾

⁽¹⁾名古屋市立大学大学院 医学研究科 実験病態病理学、⁽²⁾名古屋市立大学大学院 医学研究科 腎・泌尿器科学

O-6 アルデヒド脱水素酵素 2 (ALDH2)多型 rs671 を介した脂肪酸代謝制御機構の解明

靄 裕美⁽¹⁾、谷川 千津⁽²⁾、植田 幸嗣⁽³⁾、鎌谷 洋一郎⁽⁴⁾、松田 浩一^(1,2)

⁽¹⁾東京大学 医科学研究所 シークエンス技術開発分野、⁽²⁾東京大学大学院 新領域創成科学研究科 クリニカルシークエンス分野、⁽³⁾公益財団法人がん研究会 CPM センター 分析生化学研究部、⁽⁴⁾東京大学大学院 新領域創成科学研究科 複雑形質ゲノム解析分野

12:00～12:50 日本がん疫学・分子疫学研究会 総会

14:10～15:50 教育研修講演

司会：松田 浩一（東京大学大学院 新領域創成科学研究科）

EL-1 疾患における腸内細菌叢の機能解析と新規治療法の開発

植松 智^(1,2)

⁽¹⁾大阪公立大学 ゲノム免疫学、⁽²⁾東京大学医科学研究所 メタゲノム医学

EL-2 医療ビッグデータを用いた臨床研究

康永 秀生

東京大学大学院 医学系研究科臨床疫学・経済学

16:00～18:00 合同シンポジウム「環境と遺伝の融合で切り拓くがん疫学・予防研究」

司会：松尾 恵太郎（愛知県がんセンター がん予防研究分野）

梶村 春彦（公益財団法人佐々木研究所）

JS-1 メカニズムと予防をつなぐ：遺伝子間および遺伝子環境の相互作用

松尾 恵太郎

愛知県がんセンター がん予防研究分野

JS-2 オミックスデータを用いた疾患バイオマーカーの探索と予防医療に向けた取り組み

松田 浩一

東京大学大学院 新領域創成科学研究科

JS-3 環境発がん因子の解明に向けた変異シグネチャーと DNA 付加体の解析

戸塚 ゆ加里

星薬科大学 薬学部 衛生化学研究室

JS-4 変異シグネチャー解析による日本人に特徴的な発がん要因の探索

柴田 龍弘

東京大学 医科学研究所 ゲノム医科学分野

【第2会場 (4階第1会議室)】

13:00～14:00 ポスターセッション 1

司会：江口 英孝（順天堂大学大学院医学研究科 難病の診断と治療研究センター）

P-1 BMI 関連遺伝子多型が乳がんに与える影響の媒介分析による評価

安藤 優里⁽¹⁾、小柳 友理子⁽¹⁾、岩下 雄二⁽¹⁾、山本 清花⁽¹⁾、春日井 由美子⁽¹⁾、尾瀬 功⁽²⁾、中枿 昌弘⁽³⁾、原文堅⁽⁴⁾、松田 文彦⁽⁵⁾、井本 逸勢⁽⁶⁾、伊藤 秀美⁽²⁾、松尾 恵太郎⁽¹⁾

⁽¹⁾愛知県がんセンター がん予防研究分野、⁽²⁾愛知県がんセンター がん情報対策研究分野、⁽³⁾名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻 ヘルスケア情報科学、⁽⁴⁾愛知県がんセンター 乳腺科部、⁽⁵⁾京都大学大学院医学系研究科ゲノム医学センター、⁽⁶⁾愛知県がんセンター

P-2 胆道がん罹患に対するヘリコバクター・ピロリ感染の寄与

山本 清花⁽¹⁾、小柳 友理子⁽¹⁾、岩下 雄二⁽¹⁾、尾瀬 功⁽²⁾、春日井 由美子⁽¹⁾、井本 逸勢⁽³⁾、伊藤 秀美⁽²⁾、松尾 恵太郎⁽¹⁾

⁽¹⁾愛知県がんセンター がん予防研究分野、⁽²⁾愛知県がんセンター がん情報対策研究分野、⁽³⁾愛知県がんセンター

P-3 中高年期の日本人における生活習慣と血中酸化・抗酸化バイオマーカーとの関連：大規模な地域住民コホートにおける横断研究

佐藤 礼佳^(1,2)、西原 健士朗^(1,3)、山地 太樹⁽¹⁾、陸 兪凱⁽⁴⁾、中野 詩織⁽¹⁾、井上 真奈美^(4,5)、津金 昌一郎^(4,6)、澤田 典絵⁽⁴⁾、岩崎 基^(1,4)

⁽¹⁾国立がん研究センター がん対策研究所 疫学研究部、⁽²⁾東京慈恵会医科大学大学院 医学研究科、⁽³⁾順天堂大学大学院 医学研究科、⁽⁴⁾国立がん研究センター がん対策研究所 コホート研究部、⁽⁵⁾国立がん研究センター がん対策研究所 予防研究部、⁽⁶⁾国際医療福祉大学大学院 医学研究科公衆衛生学専攻

P-4 がん患者における栄養サポートチーム（NST）による栄養管理と予後との関連：コホート研究基盤を用いた研究計画の紹介

金原 里恵子、澤田 典絵

国立がん研究センター がん対策研究所 コホート研究部

P-5 Comprehensive pan-cancer analysis of *TP53* germline variants in 110,000 Japanese individuals

Meixi Wu⁽¹⁾, Yuka Okamoto⁽²⁾, Yoji Sagiya⁽¹⁾, Hiromi Tsuru⁽²⁾, Yoshiaki Usui⁽³⁾, Mikiko Endo⁽³⁾, Yusuke Iwasaki⁽³⁾, Yukihide Momozawa⁽³⁾, Chizu Tanikawa⁽¹⁾, and Koichi Matsuda^(1,2)

⁽¹⁾Laboratory of Clinical Genome Sequencing, Department of Computational Biology and Medical Sciences, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo,

⁽²⁾Laboratory of Genome Technology, Human Genome Center, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo, ⁽³⁾Laboratory for Genotyping Development, RIKEN Center for Integrative Medical Science

P-6 Exploring Diagnostic Markers by Autoantibody Profiling Using Protein Arrays(プロテインアレイを用いた自己抗体プロファイリングによる診断マーカーの探索)

劉 朝奇⁽¹⁾、谷川 千津⁽¹⁾、福田 枝里子⁽²⁾、五島 直樹⁽³⁾、松田 浩一^(1,4)

⁽¹⁾東京大学新領域創成科学研究科 クリニカルシーケンス分野、⁽²⁾産業技術総合研究所 細胞分子工学研究部門、⁽³⁾産業技術総合研究所 創薬分子プロファイリング研究センター、⁽⁴⁾東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センターシーケンス技術開発分野

司会：堀中 真野（京都府立医科大学大学院医学研究科 創薬医学）

P-7 ヒト浸潤性膵管癌における新規早期診断マーカーとしての PRDX3 の検討及び発がん機序解明

梯 アンナ⁽¹⁾、西土井 悠作⁽¹⁾、邱 桂鈺⁽¹⁾、ワチラアルンウオン アルパマス^(1,2)、藤岡 正喜⁽¹⁾、魏 民^(1,2)、鰐淵 英機^(1,2)、鈴木 周五⁽¹⁾

⁽¹⁾大阪公立大学大学院医学研究科 分子病理学、⁽²⁾大阪公立大学大学院医学研究科 環境リスク評価学

P-8 精巣腫瘍におけるリジン特異的脱メチル化酵素（LSD1）の発現と LSD1 阻害剤による腫瘍進展予防

清水 伸彦^(1,3)、内木 拓⁽²⁾、森川 敏治⁽³⁾、青木 マリア⁽²⁾、権田 将一⁽³⁾、永井 隆⁽³⁾、恵谷 俊紀⁽³⁾、河合 憲康⁽⁴⁾、戸澤 啓一⁽³⁾、安井 孝周⁽³⁾

⁽¹⁾菰野厚生病院 泌尿器科、⁽²⁾名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター 泌尿器科、

⁽³⁾名古屋市立大学大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野、⁽⁴⁾名古屋市立大学医学部附属 みどり市民病院 泌尿器科

P-9 乳がん発症に関連する DNA メチル化の検討

突沖 貴宏、中本 翔伍、谷岡 真樹、高橋 侑子、枝園 忠彦
岡山大学病院 乳腺・内分泌外科

P-10 低用量アスピリンと大腸がん発症との関連：ケース・コントロール研究

前田 絢子⁽¹⁾、小野 夏鈴⁽¹⁾、武藤 倫弘⁽²⁾、石川 秀樹⁽²⁾、真野 泰成⁽¹⁾

⁽¹⁾東京理科大学薬学部 臨床薬剤情報学、⁽²⁾京都府立医科大学大学院 分子標的予防医学

P-11 ルテオリンによる microRNA 誘導と前立腺癌抑制機構の解明

村上 明寛、内木 綾、加藤 寛之、高橋 智
名古屋市立大学大学院医学研究科 実験病態病理学

P-12 生来ヒトは花粉を浴び続け、花粉反応性が閾値を超えた年月に、おのおの川崎病、指定難病、がん罹患のスタートラインにつく

栗屋 昭⁽¹⁾、黒岩 義之⁽²⁾

⁽¹⁾皮膚科学疫学研究所、⁽²⁾帝京大学医学部附属溝口病院 脳神経内科・脳卒中センター

P-13 Brca1 ハプロ不全による乳腺組織の変化の探索：放射線被ばくによる炎症反応と老化の亢進の可能性

中村 柚月^(1,2,3)、矢野(西村) 由希子⁽¹⁾、永田 健斗⁽¹⁾、高畠 賢^(1,2)、井上 一雅⁽²⁾、今岡 達彦^(1,2)

⁽¹⁾量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 放射線影響予防研究部

⁽²⁾東京都立大学大学院人間健康科学研究科 放射線科学域

⁽³⁾日本学術振興会特別研究員 DC

P-14 Non-thermal plasma induces ferroptosis in tongue cancer progression

Ming Yang^(1,2), Kotaro Sato^(1,2), Yashiro Motooka⁽²⁾, Miki Nishio⁽³⁾, Akira Suzuki⁽³⁾, Hideharu Hibi⁽¹⁾, Shinya Toyokuni⁽²⁾

⁽¹⁾Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Nagoya University Graduate School of Medicine, ⁽²⁾Department of Pathology and Biological Responses, Nagoya University Graduate School of Medicine, ⁽³⁾Division of Molecular and Cellular Biology, Kobe University Graduate School of Medicine

P-15 膵神経内分泌腫瘍モデルマウスの腫瘍および肝転移巣の特徴

小杉 海熙⁽¹⁾、堀 美香⁽¹⁾、高橋 篤⁽²⁾、林 良敬⁽¹⁾

⁽¹⁾名古屋大学環境医学研究所 内分泌代謝分野、⁽²⁾国立循環器病研究センター研究所 病態ゲノム医学部

P-16 rasH2 マウス由来肝臓、肺、食道オルガノイドの特性と *ex vivo* 発がん性評価法の検討

今井 俊夫、明吉 愛実、望月 美沙、佐藤 人美、井上 亮、西銘 千代子、鈴木 雅実

公益財団法人実中研 トランスレーショナルリサーチ部門

P-17 膵癌モデルにおけるエラグ酸の化学予防効果とレジスチンの役割

加藤 寛之、内木 綾、村上 明寛、高橋 智

名古屋市立大学大学院医学研究科 実験病態病理学

9月13日（土）
【第1会場（ホール）】

9:00～10:30 シンポジウム2「動物モデルから得られた貴重な知見」

司会：武藤 倫弘（京都府立医科大学大学院医学研究科 分子標的予防医学）

内木 綾（名古屋市立大学大学院医学研究科 実験病態病理学）

S2-1 クロモスリプシスによるラット肝発がん機序の解明

石井 雄二

国立医薬品食品衛生研究所 病理部

S2-2 モデル動物で探る MASH を基盤とした肝発がんの病態と予防の可能性

内木 綾⁽¹⁾、河村 逸外^(1,2)、Kuang Xiaochen⁽¹⁾、小村 理行⁽¹⁾、加藤 寛之⁽¹⁾、高橋 智⁽¹⁾

⁽¹⁾名古屋市立大学大学院医学研究科 実験病態病理学、⁽²⁾名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学

S2-3 BRCA1 p.L63X ノックインラットの乳癌発生機序と予防研究への展望

今岡 達彦^(1,2)、中村 柚月^(1,3,4)、永田 健斗^(1,2)、矢野(西村) 由希子⁽¹⁾、朝香 千咲稀^(1,3)、臺野 和広^(1,2)、石川 敦子⁽¹⁾

⁽¹⁾量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 放射線影響予防研究部、⁽²⁾量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所、⁽³⁾東京都立大学 院・人間健康科学 放射線、⁽⁴⁾日本学術振興会特別研究員 DC

S2-4 放射線誘発性代謝異常に対する摂餌時間制限の修飾効果

中村 慎吾、小林 敏之

公益財団法人環境科学技術研究所 生物影響研究部

S2-5 前がん状態をターゲットとした大腸がん予防薬の探索

宮本 真吾

京都府立医科大学 大学院医学研究科 分子標的予防医学

10:40～11:50 一般口演2【疫学】

司会：岩崎 基（国立がん研究センター がん対策研究所 疫学研究部）

尾瀬 功（愛知県がんセンター がん情報・対策研究分野）

O-7 遺伝要因・環境要因により異なるクローン性造血の臨床的意義

碓井 喜明⁽¹⁾、遠藤 ミキ子⁽¹⁾、岩崎 雄介⁽¹⁾、飯島 花枝⁽¹⁾、中川 英刀⁽¹⁾、松田 浩一⁽²⁾、桃沢 幸秀⁽¹⁾

⁽¹⁾理化学研究所 生命医科学研究センター、⁽²⁾東京大学大学院 新領域創成科学研究科

O-8 近接伸長反応シーケンシングを用いた血清プロテオミクスによる、膵臓がんの罹患と予後のバイオマーカーの探索

岩下 雄二⁽¹⁾、小柳 友理子⁽¹⁾、春日井 由美子⁽¹⁾、尾瀬 功⁽²⁾、井本 逸勢⁽³⁾、伊藤 秀美⁽²⁾、松尾恵太郎⁽¹⁾

⁽¹⁾愛知県がんセンター がん予防研究分野、⁽²⁾愛知県がんセンター がん情報対策研究分野、⁽³⁾愛知県がんセンター

O-9 BRCA1/BRCA2 遺伝子の生殖細胞系列病的バリエーションダブル保有者で発生した両側乳癌における 2 ヒットイベントは独自に生じていた

江口 英孝⁽¹⁾、仙波 遼子⁽²⁾、高津 美月⁽³⁾、橋都 透子⁽⁴⁾、茂木 英明⁽³⁾、前野 一真⁽⁵⁾、村上 郁⁽²⁾、渡邊 純一郎⁽⁶⁾、九富 五郎⁽⁶⁾、新井 正美⁽⁷⁾

⁽¹⁾順天堂大学大学院医学研究科 難病の診断と治療研究センター、⁽²⁾順天堂大学医学部附属練馬病院 乳腺外科、⁽³⁾相澤病院 遺伝子診療科、⁽⁴⁾相澤病院 乳腺・甲状腺外科、⁽⁵⁾諏訪赤十字病院 乳腺・内分泌外科、⁽⁶⁾順天堂大学大学院医学研究科 乳腺腫瘍学、⁽⁷⁾順天堂大学大学院医学研究科 臨床遺伝学

O-10 2000–2014 年における日本の肺がん患者の 5 年純生存率：CONCORD-3 研究

尾瀬 功⁽¹⁾、Melissa Matz⁽²⁾、伊藤 秀美⁽¹⁾、大木 いずみ⁽³⁾、中田 佳世⁽⁴⁾、松坂 方士⁽⁵⁾、田中 里奈⁽⁵⁾、山下 夏実⁽⁶⁾、Michel P Coleman⁽²⁾、Veronica Di Carlo⁽²⁾、松田 智大⁽⁷⁾、杉山 裕美⁽⁸⁾、Japanese CONCORD-3 Working Group

⁽¹⁾愛知県がんセンター、⁽²⁾London School of Hygiene and Tropical Medicine、⁽³⁾埼玉県立大学、⁽⁴⁾大阪国際がんセンター、⁽⁵⁾弘前大学医学部付属病院、⁽⁶⁾四国がんセンター、⁽⁷⁾国立がん研究センター、⁽⁸⁾放射線影響研究所

O-11 酸化能および抗酸化能とがん罹患リスクとの関連：多目的コホート研究

西原 健士朗^(1,2)、山地 太樹⁽¹⁾、陸 兪凱⁽³⁾、中野 詩織⁽¹⁾、口羽 文^(4,5)、井上 真奈美^(3,6)、津金 昌一郎^(3,7)、澤田 典絵⁽³⁾、岩崎 基^(1,3)

⁽¹⁾国立がん研究センター がん対策研究所 疫学研究部、⁽²⁾順天堂大学大学院 医学研究科 最先端がん臨床研究コース、⁽³⁾国立がん研究センター がん対策研究所 コホート研究部、⁽⁴⁾帝京大学大学院 公衆衛生学研究科、⁽⁵⁾国立がん研究センター がん対策研究所 生物統計研究部／研究支援センター 生物統計部、⁽⁶⁾国立がん研究センター がん対策研究所 予防研究部、⁽⁷⁾国際医療福祉大学大学院 医学研究科 公衆衛生学専攻

O-12 術後補助化学療法実施に関する医療の質評価指標についての都道府県別比較

花房 真理子⁽¹⁾、南 哲司⁽²⁾、森島 敏隆⁽³⁾、澤田 典絵⁽¹⁾

⁽¹⁾国立がん研究センターがん対策研究所コホート研究部、⁽²⁾国立がん研究センターがん対策研究所がん医療支援部、⁽³⁾大阪国際がんセンターがん対策センター

O-13 患者・市民との協働によるがん予防法実装の優先度設定

山口 麻衣⁽¹⁾、西原 麻里子^(1,2)、梶 有貴^(1,3)、山下 恵⁽¹⁾、小田原 幸⁽¹⁾、齋藤 順子^(1,4)、井上 真奈美⁽⁵⁾、中山 富雄⁽⁶⁾、島津 太一⁽¹⁾

⁽¹⁾国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部、⁽²⁾聖路加国際大学公衆衛生大学院、⁽³⁾国際医療福祉大学総合診療医学、⁽⁴⁾帝京大学大学院公衆衛生学研究科、⁽⁵⁾国立がん研究センター がん対策研究所 予防研究部、⁽⁶⁾国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部

13:00～13:40 日本がん予防学会総会・奨励賞授与式

15:00～16:00 基調講演

司会：高橋 智（名古屋市立大学大学院医学研究科 実験病態病理学）

KS-1 未病状態をエンドポイントに用いてがん予防研究の革新へ

牛島 俊和
星薬科大学

16:00～16:20 表彰式・閉会の辞

16:30～17:30 第9回認定セミナー

司会：武藤 倫弘（京都府立医科大学大学院医学研究科 分子標的予防医学）

講演-1 カーボンナノマテリアルのラットの肺と胸膜中皮における発がん

津田 洋幸
名古屋市立大学大学院医学研究科 津田特任教授研究室

講演-2 リアルデータによる疫学研究の難しさ

鈴木 貞夫
名古屋市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学分野

講演-3 飲酒関連がんの予防 -update-

菊地 基雄
名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター 総合内科

講演-4 大腸癌早期診断のための尿中バイオマーカー開発

志村 貴也
名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学

司会：伊藤 秀美（愛知県がんセンター がん情報・対策研究分野）

P-18 名古屋市「ワンコインがん検診」の受診率と地理的剥奪指標の関連

藤浪 春菜⁽¹⁾、尾瀬 功⁽¹⁾、柘植 博之⁽¹⁾、川浦 正規⁽¹⁾、石川 博己⁽³⁾、前野 健⁽³⁾、山本 清花⁽²⁾、小柳 友理子⁽²⁾、小嶋 雅代⁽³⁾、松尾 恵太郎⁽²⁾、伊藤 秀美⁽¹⁾

⁽¹⁾愛知県がんセンター がん情報・対策研究分野、⁽²⁾愛知県がんセンター がん予防研究分野、⁽³⁾名古屋市 健康福祉局

P-19 コリバクチン産出菌の高感度検出および中和抗体除菌による大腸がん予防法の確立

新貝 龍旦⁽¹⁾、小林 裕輝⁽¹⁾、吉岡 泰淳⁽²⁾、菱木 麻美⁽¹⁾、永翁 一代⁽¹⁾、佐藤 道大⁽¹⁾、三好 規之⁽²⁾、橋本 博⁽¹⁾、渡辺 賢二⁽¹⁾

⁽¹⁾静岡県立大・薬、⁽²⁾静岡県立大・食品栄養環境科学

P-20 ポリフェノール摂取と全がん・部位別がんリスクの関連：多目的コホート研究（JPHC Study）

木住野 円華⁽¹⁾、金原 里恵子⁽¹⁾、森 渚⁽²⁾、石原 淳子⁽³⁾、高地 リベカ⁽⁴⁾、山地 太樹⁽⁵⁾、岩崎 基^(1,5)、津金 昌一郎⁽⁶⁾、澤田 典絵⁽¹⁾

⁽¹⁾国立がん研究センター がん対策研究所 コホート研究部、⁽²⁾Stony Brook University, Stony Brook Cancer Center、⁽³⁾麻布大学 生命・環境科学部、⁽⁴⁾奈良女子大学大学院 生活環境科学系、⁽⁵⁾国立がん研究センター がん対策研究所 疫学研究部、⁽⁶⁾国際医療福祉大学大学院 医学研究科公衆衛生学専攻

P-21 乳がんサバイバーの有する身体能力が在宅高強度運動プログラムの効果に与える影響

佐藤 蓮、街 勝憲、松岡 豊

国立がん研究センターがん対策研究所

P-22 グリセミック指数およびグリセミック負荷とインスリン受容体サブタイプ別大腸がん罹患との関連について

本間 雄貴⁽¹⁾、中野 詩織⁽¹⁾、西原 健士朗^(1,2)、山地 太樹⁽¹⁾、後藤 温^(1,3)、日高 章寿^(1,4)、島津 太一⁽⁵⁾、口羽 文^(6,7,8)、加藤 生真⁽⁹⁾、澤田 典絵⁽¹⁰⁾、井上 真奈美^(10,11)、津金 昌一郎^(10,12)、岩崎 基^(1,10)

⁽¹⁾国立がん研究センター がん対策研究所 疫学研究部、⁽²⁾順天堂大学大学院 医学研究科、⁽³⁾横浜市立大学 公衆衛生学教室、⁽⁴⁾JCHO 東京山手メディカルセンター 糖尿病・内分泌科、⁽⁵⁾国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部、⁽⁶⁾帝京大学大学院 公衆衛生学研究科、⁽⁷⁾国立がん研究センター がん対策研究所 生物統計研究部、⁽⁸⁾国立がん研究センター 研究支援センター 生物統計部、⁽⁹⁾静岡県立静岡がんセンター 病理診断科、⁽¹⁰⁾国立がん研究センター がん対策研究所 コホート研究部、⁽¹¹⁾国立がん研究センター がん対策研究所 予防研究部、⁽¹²⁾国際医療福祉大学大学院 公衆衛生学

- P-23 ヒト血清サンプルが細胞に与える影響の評価 ～Cell Painting による表現型解析～**
鷺谷 洋司⁽¹⁾、谷川 千津⁽¹⁾、岡本 有加⁽²⁾、糸川 直樹⁽³⁾、鶴 裕美⁽²⁾、鎌谷 洋一郎⁽³⁾、松田 浩一^(1,2)
⁽¹⁾東京大学新領域創成科学研究科 クリニカルシーケンス分野、⁽²⁾東京大学医科学研究所 シークエンス技術開発分野、⁽³⁾東京大学新領域創成科学研究科 複雑形質ゲノム解析分野
- P-24 Multi-omics analysis to elucidate the pathogenesis of *Helicobacter pylori*-associated diseases**
Sutthaorn Pothongsrisit⁽¹⁾, Yoji Sagiya⁽¹⁾, Hiromi Tsuru⁽²⁾, Akinori Kanai⁽³⁾, Yutaka Suzuki⁽³⁾, Chizu Tanikawa⁽¹⁾, Koichi Matsuda^(1,2)
⁽¹⁾Laboratory of Clinical Genome Sequencing, Department of Computational Biology and Medical Sciences Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo, ⁽²⁾Laboratory of Genome Technology Human Genome Center, Institute of Medical Science, The University of Tokyo, ⁽³⁾Life Science Data Analysis Center, Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo
- 司会：梯 アンナ（大阪公立大学大学院医学研究科 分子病理学）
- P-25 ヒ素曝露による発がん機構に関する基礎的検討**
堀中 真野、西幹 栄美、酒井 敏行
京都府立医科大学大学院医学研究科 創薬医学
- P-26 Parthenolide による腸発がん抑制効果の検討**
白井 眞子⁽¹⁾、鱧屋 隆博⁽²⁾、宮本 真吾⁽²⁾、武藤 倫弘⁽²⁾
⁽¹⁾京都府立医科大学 保健・予防医学教室、⁽²⁾京都府立医科大学大学院医学研究科 分子標的予防医学
- P-27 老化細胞の除去による放射線発がん予防を目指した候補薬スクリーニング**
尚 奕⁽¹⁾、水垣 ひなの⁽²⁾、永根 大幹⁽²⁾、今岡 達彦⁽¹⁾、飯塚 大輔⁽¹⁾
⁽¹⁾量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所、⁽²⁾麻布大学 獣医学部
- P-28 有機フッ素化合物（PFAS）の遺伝毒性評価**
小池 遥己⁽¹⁾、小高 和大⁽¹⁾、渋谷 優空⁽¹⁾、関根 航⁽¹⁾、茅野 朋子⁽¹⁾、松本 真理子⁽²⁾、藤岡 正喜⁽³⁾、鈴木 周五⁽³⁾、魏 民⁽³⁾、戸塚 ゆ加里⁽¹⁾
⁽¹⁾星薬科大学薬学部 衛生化学、⁽²⁾国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部、⁽³⁾大阪公立大学大学院医学研究科 環境リスク評価学
- P-29 ショウジョウバエヘモサイトが腫瘍形成に与える影響の解析**
永長 一茂^(1,2,3)、中井 雄治^(2,3,4)、白土 明子^(5,6)
⁽¹⁾弘前大学 農学生命科学部 生物学科、⁽²⁾弘前大学 大学院地域共創科学研究科 産業創生科学専攻、⁽³⁾弘前大学 地域戦略研究所 食料科学研究部門、⁽⁴⁾弘前大学 農学生命科学部 分子生命科学科、⁽⁵⁾札幌医科大学 医療人育成センター、⁽⁶⁾札幌医科大学 大学院医学研究科 分子細胞機能学

P-30 Chemopreventive Potential of Bioactive Peptides Derived from Black Soldier Fly Larvae

Arpamas Vachiraarunwong⁽¹⁾, Kwanchanok Praseatsook^(1,2), Rawiwan Wongpoomchai⁽²⁾, Shugo Suzuki⁽³⁾, Anna Kakehashi⁽³⁾, Masaki Fujioka⁽³⁾, Hideki Wanibuchi⁽¹⁾, Supachai Yodkeree⁽²⁾, Min Gi⁽¹⁾

⁽¹⁾Department of Environmental Risk Assessment, Osaka Metropolitan University, Graduate School of Medicine, ⁽²⁾Department of Biochemistry, Faculty of Medicine, Chiang Mai University, Chiang Mai, Thailand, ⁽³⁾Department of Molecular Pathology, Osaka Metropolitan University, Graduate School of Medicine

P-31 飲酒関連がんにおける Brief Intervention

菊地 基雄

名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター 総合内科

P-32 家族性大腸腺腫症に対する分子標的予防法を目指した基礎的検討

安田 周祐、堀中 真野、森田 美枝、酒井 敏行

京都府立医科大学大学院医学研究科 創薬医学

P-33 クマザサ (*Sasa veitchii*) 抽出液のマウス膵がん細胞株に対する抗がん効果の検証

濱中 順也^(1,2)、堀内 綾音⁽³⁾、佐野 誠^(4,5)、吉岡 弘毅⁽²⁾、酒々井 眞澄⁽¹⁾

⁽¹⁾名古屋市立大学大学院医学研究科 神経毒性学分野、⁽²⁾北里大学医学部 衛生学、⁽³⁾岐阜医療科学大学薬学部 薬理学分野、⁽⁴⁾日本大学医学部 麻酔科学系麻酔科学分野、⁽⁵⁾労働安全衛生総合研究所

P-34 パルミトイルピペリジノピペリジンのマウス膵がん細胞株に対する抗がん効果の検証

濱中 順也^(1,2)、堀内 綾音⁽³⁾、飯沼 宗和⁽⁴⁾、佐野 誠^(5,6)、吉岡 弘毅⁽²⁾、小野 健治⁽¹⁾、深町 勝巳⁽¹⁾、酒々井 眞澄⁽¹⁾

⁽¹⁾名古屋市立大学大学院医学研究科 神経毒性学分野、⁽²⁾北里大学医学部 衛生学、⁽³⁾岐阜医療科学大学薬学部 薬理学分野、⁽⁴⁾岐阜薬科大学 生薬学研究室、⁽⁵⁾日本大学医学部 麻酔科学系麻酔科学分野、⁽⁶⁾労働安全衛生総合研究所